|  |  |
| --- | --- |
| 受付整理番号 |  |

**令和４（２０２２）年度 第２期 東京芸術文化創造発信助成**

**カテゴリーⅠ 単年助成 助成金交付申請書（団体申請）**

公益財団法人東京都歴史文化財団　理事長　殿

申請団体名：

団体所在地： 東京都

\* マンション名、ビル名、部屋番号、〇〇様方、まで省略せずに記載してください。

代表者役職名：

代表者氏名：

下記の事業について、東京芸術文化創造発信助成金交付要綱（単年助成）に基づき助成金の交付を申請します。

なお、申請関係書類に記載した個人情報は、公募ガイドラインに記載されている内容を承諾した上で提供します。

|  |  |
| --- | --- |
| フリガナ |  |
| 事業名\*確定していない場合は末尾に（仮）と付記 |  |
|  |  |
| 活動分野（上段の5つの分野から複数を選択可。又は下段の「複合」を選択） | □ 音楽 □ 演劇 □ 舞踊 □ 美術・映像 □ 伝統芸能 |
| □ 複合（核となる分野を特定できない芸術活動） |
| 実施場所 | □ 都内 □ 海外 □ 都内及び海外 |
| 事業内容 | □ 都内での芸術創造活動 　　　　　 　□ 国際的な芸術交流活動 |
| **助成申請額**\*半角数字。桁区切りのカンマを入れる |  | **円**（「収支予算書」記載の「当助成申請額」） |
| 実施期間\*準備期間・移動日は含めない | 開始日(西暦)\*半角数字 |  | 年 |  | 月 |  | 日 | 終了日(西暦)\*半角数字 |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| 実施会場\* 複数回実施する場合は各回の日程・場所を記載 |  | 所在地（区市町村名）（海外の場合は国・都市名） |  |
| 実施回数又は日数 |  | 入場者又は参加者数 | 名 |
| 主催・共催・助成・提携・協賛・後援等とその役割\*予定・申請中の場合も必ず記載してください。 | 名義 | 団体名･機関名 | 役割 |
| 主催 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |
| --- |
| ※以下の枠内は文章量に応じて枠の幅が自動的に広がり改ページする設定になっているので、文字の大きさと行間は変更しないでください。記述内容は簡潔にまとめてください。※枠内には文章のみを記載してください。図や写真は貼り付けないでください。 |
| １. 事業のスケジュール〔企画立案、各種契約、会場予約、広報活動、チケット発売、稽古、設営等、種々の準備段階から、事業実施、実施後の実績報告書の作成まで、それぞれの日程と作業内容を具体的に記載してください。〕 |
|  |
| ２. 事業の具体的内容〔プログラム内容・出演者・スタッフ等及び、事業の中で実際に行われることについて、明確かつ具体的に記載してください。〕 |
|  |
| ３. 事業の趣旨 |
| （Ａ） | 事業の背景・展望 | ａ. 本事業を計画するに至った経緯や背景 |
|  |
| ｂ. 本事業が当該分野又は芸術文化全体の中でもつ意味 |
|  |
| ｃ. 申請者が自身の活動において追求し、実現・到達したいと考えている将来の展望 |
|  |
| （Ｂ） | 事業の目的 | 〔上記３.（Ａ）ｃ. の「将来の展望」を踏まえた、今回の申請事業の目的を記載してください。〕 |
|  |
| ４. ＜３.（Ｂ）事業の目的＞を達成するために今回特に取り組むこと〔例えば、企画や創作上の試み、出演者の選定やプログラミングにおける工夫、情報発信・広報に関する独創的な手法、想定している観客層（対象者）の集客・来場のための工夫、外部との連携、数値目標、等〕 |
|  |
| ５. 本事業の社会における意義〔本事業が、当該分野以外に広い視点から社会に対して何をどのように問いかけ、どのような影響を及ぼしうるのかを記載してください。〕 |
|  |
| ６. 審査基準にあてはまる点〔公募ガイドライン「４．助成の基本方針」の「（１）審査基準」に照らし、申請事業において特にあてはまる点について記載してください。（全ての審査基準について記載しなくても構いません。）〕 |
|  |